

【「相場は予想・予測できない」という前提から
投資家には「対応力・修正力」が最も重要という話】

どうもゆうです！

さて、私は現在

すごい投資家さんとか起業家の方なんかとほんとかなり

密なスケジュールでお会いしてるのですが

まあほんと勉強になるな〜と。

世の中には損する方法って意外に限られていて

けど大多数は

なぜかそれをやるのですけど

(FXで損きりしないとか)

けど稼ぐ方法って本当に限りなくあって面白いな〜

なんて思います。

さて、それでFXとか仮想通貨とかでも

結構稼ぐ方法なんてのは沢山あるわけですが

特にどの教材も重要なのが

「予測・予想しない」ってのが大事ですね～～

ちなみに私は昨日すごい億トレーダーさんとまた話していたのですが

そういえばこの「予測予想しない」ってのはやはり

すごい彼も言われてまして、私も予測とか予想しないんですけど

これはとても大事な考え方です。

それで今回の主題の

「予想、予測しない」

~~~~~  
ってことなんですけど

これすごい大事です。

ちなみにこの「相場とか未来は予想、予測できない」

っていうのは実は私はまた別のアキラさんという株式投資家が

いらっしゃってまあスゴイ人なんだけど

この人に学んだことですよね。

結局自分の今の利益ってこの考え方に担保されてるな～

と良く感じるのです。

それでこれは実際にもう「未来、相場は予想・予測できない」

ってというのは実はずいぶん前に証明されてしまっているんですね。

だから例えばどんなにIQが高いAIが出てきても

IQ10000のAIが出てきても実のところ

100%の予測予想はできないわけです。

これが世界の面白いところでもありまして。

ちなみに私が聞いて知ってるのが実はこの「予想、予測」って

言葉がよく金融の世界で使われるようになったのって

株の取引を個人がやるようになって、確か証券会社かどっかが

言い出したのがきっかけだと。

それまではそもそも「予想、予測する」って考え方自体が

主流じゃなかったんだ、という話は以前その塾で聞いたことがあります。

これは意外に重要で今ってみんな「予測、予想」しようとするじゃないですか？

けどこれって近年のもので、この「予測」とか「予想」とか「予知」とか

ですね、これは実のところちょっとプロパガンダ性を持つてる言葉

なわけですね。

予測なんてできないのですから。

ただこの 予測とか予知とか予想とか、その辺の言葉を流行させて  
そこで儲けたのが実際のところ金融にいる銀行家であったりとか  
証券会社であるのだ、って話を私は以前聞いて知ってるんですね。

だから予測とか予知はしないわけです。

んで、やはりこれは稼いでる人ってどうもみんな共通なようで  
稼いでるトレーダーは予測とか予知とかしないんです。

それでおそらく洗脳されてる人に「予測とか予知とかできないので  
そんなのしても意味ないです」とか言うと

「何を言ってるのだ、相場は上に行くか下に行くか予想してなんぼだろ！」

なんていわれるとは思うんですね。

これはやはりけど洗脳されてるわけです。

じゃあ稼いでる投資家たち、例えば資産が数億円やら数十億円やら  
ある人たちって実際にいるわけなんだけど

彼らって上に行くか下に行くかみたいな予想、予測してるのか??

というと実はしてないんですね。

ただ彼らがしてることっていうのは相場をマッピングしまして

環境認識っていったりするけど環境を認識してですね、

そんで上に行っても下に行ってもどっちにいつでも対応できるように

しているんです。

だから実際の話エントリーポイントが結構 大雑把な億トレーダー

というすごい人たちもいるんだけど

ただ彼らが優れるのがその後の

ポジションワークとか、両建てスキルとか、

それらの「臨機応変力」とか、「修正していく力」とかなんですね。

実のところ資産の多い人と小さい人、まあいるわけですが

どこで枝分かれしてしまっているのか??

というと実はこの辺なんですね。

資産が大きい億トレーダーみたいな人たちは対応力がやはり  
高く、臨機応変力が高いわけですね。

なぜか??

っていうと、「あらかじめ相場は予想できないものだと知ってるから」  
です。

たぶん多くの方は「どうやって相場が上に行くか下に行くか  
予想しようとしている」のだけど

それは無理なわけです。

だから億トレーダーとかの金持ちトレーダーはそもそも予想事態を  
していないというか

せいぜいチャート上でマッピングとか言いますが  
シナリオ構成をして、そしてそのシナリオや仮説通りいく場合、  
いかない場合、あるわけですが

そこで「対応できる臨機応変力、修正力」に長けているから  
金持ちになるわけです。

この話、分かりますかね??

実はここが重要で、

もし、あなたが「上がる、下がる」の  
予想をしているのであれば  
今すぐに、それ、辞めて、

相場で莫大な利益を得るコツは  
予想するのではなく、「波」を取るということに

フォーカスしたほうがいいわけです。

**「だから」ダウ理論とかエリオット波動とかの**

**相場の波の原理原則が大事になるってこと。**

だから「お金稼げていない人は予想、予知、予測」

にすごい力を集中しているのだけど

「お金持ちたちは予想も予知も予測もできないから

その後の対応するところに意識を集中してる」

っていう違いはあると思いますね～

これは実のところ無料で書いてますが、

この真意が分かったらおそらく100万円どころか1000万円

1億円の価値がある話なんだけど

すれくらい重要な話なんです。

すなわち世間の人には「予想思想」で洗脳されてるわけですね。

---

ここが分かったらめっちゃくちゃ強くなります、その人は。

それで「予測しないで対応力、臨機応変力、修正力をあげるのが大事」

とか言っても、意味が分からないという人も多いでしょう。

これは例を書きますと

例えば 明日

太郎君が非常にモテる美人の花子ちゃんとデートするとします。

そこで太郎君は天気が明日は晴れだと「予想、予測、予知」をして

「明日大好きな花子ちゃんとディズニーランドにデートに行こう！！」

と考えるわけですね。

ディズニーランドは屋内もありますが、基本的に屋外ですね。

天気が良ければデートは楽しいものになるかもしれませんが  
その日大雨であれば、そのデートは靴がずぶ濡れで  
エレクトリカルパレードも中止され、人ごみでみんな傘差すから  
極めてストレスが高くなるデートになるかもしれません。

しかし太郎君は「明日の天気は晴れる、そうだ、間違いない、  
晴れるのだ！」と天気予報のニュースを見て晴れの確率90%と出ていたし  
それを「信じて」 ディズニーランドのデートに備えているわけです。

しかし残念・・・翌日の天気は大雨どころか台風でした。  
外には強風が吹き、雨がザーザー降ってます。

太郎君は台風であった場合の準備をしておりませんでした。  
そして花子ちゃんは台風でディズニーに行くのはだるいなと  
感じていたのですが

太郎君はそれでも最初予測、予知したから  
そこで花子ちゃんが行きたがっていたディズニーに行くわけです。

しかし花子ちゃんのテンション駄々下がりとなりまして、  
そしてその後、太郎君は大好きな花子ちゃんと  
連絡が取れなくなってしまいました。

…まあこんなことがひとつの例なんだけど

実はこの「天気を予想する」ってことをやってるのが実のところ

大多数の人たちなんですね。

ある種ギャンブルしてるわけです。

それでまたもう一方の事例ですが、

純一君という人がいました。彼はプレイボーイで

革靴で靴下をはかない主義です。

まあそれはいいとして太郎君がアプローチした花子ちゃんを

この純一君もデートに誘いました。

それで純一君は考えます。

「明日は雨かな、晴れかな？けどいつも天気予報なんて見ても

外れることもあるし当てにならないな。

そうだ、じゃあ雨でも晴れでも台風でもどっちでも

対応できるようにデートプランを考えておこう。

明日の天気次第で臨機応変に動けるようにしておこう」

と、考えました。

だから純一君は一応 確率としては晴れの確率が高そうだから

晴れのときは花子ちゃんが行きたがっていた

屋外のディズニーランドに行くとは伝えていましたが

ちゃんと雨や台風になったら車で移動する屋内のデートコースの

シナリオを用意してました。

どちらかというと純一君は花子ちゃんが行きたい

ディズニーランドはだるいから

屋内の花子ちゃんと距離を詰められる

デートコースが良いから逆に雨とか台風が来てほしいとも

思っていました。

そして翌日・・・

天気予報では晴れの確率90%といわれていたのに

またしても雨が降りました。強風で大雨です。

太郎君と同じパターンです。

ここで太郎君は対応力、臨機応変力がなかったので  
テンション下がる花子ちゃんを無理にディズニーに連れて行って  
失敗して振られてしまいました、

純一君はここで雨や台風が降っても良いデートコースを  
事前にシナリオ想定していたので

そこで「しめしめ」ということで大雨用のデートコースに  
対応したわけです。

そこで純一君はカップルでいけるオシャレな温泉スパ  
を知っていたのでディズニーランドではなく

花子ちゃんを車でカップルで行ける温泉・スパに連れて行ったら  
花子ちゃんは太郎君の時とは逆にテンションが上がりました。

そして太郎君は結局花子ちゃんに振られてしまいました  
純一君は臨機応変力、対応力があつたために  
花子ちゃんとうまくいって付き合うことになりました。

.....

それでこれがまあ一つの事例なんだけど

実のところ カネを稼いでいる一部のトレーダーとか起業家も

そうなんだけど

やってるのは実は純一君と同じなんですね。

純一君の素晴らしいところは「予想予測なんてしていなくて

そこに重点を置いていなくて

それよりも翌日起きた現象に臨機応変に、的確に対処できるように

準備していた」

というところですよ。

実のところこの姿勢は投資とかでも同じってことなんですね。

次にいくつかの事象が想定されえるとして

しかしそれは100%ってないわけです。

じゃあそこでうまく振舞って成功させていくためには??

と考えるとここで大事ななのは

「その事象が起こったらちゃんと対応、対処できるようにする

対応力、臨機応変力、修正力」であったりするわけです。

実はこれがとても大事なんですね。

だから相場でもシナリオは立てるんだけどそれはあくまで

その後ちゃんと対処できるようにシナリオを立ててるわけでした

その「シナリオを立てて臨機応変にその物事に対処しておく能力」が

~~~~~  
「予測する力」より、何百倍も大事でお金につながる
~~~~~

ってことなんです。

ちなみに上記では太郎君と純一君の例を挙げましたが

実際に恋愛においてもそれが成就するのは

純一君のほうなんですね。

いくら太郎君がイケメンで純一君が不細工という状況でも

やはり純一君のほうが結果モテる傾向が強いわけです。

これは女性のすごいところで、そういう細かいところで

女性は男の対応力とか臨機応変力とかを見抜く力があるわけですね。

それは子供を守るためにはとても重要な能力であるから。

一方 予想とか予測をする人は弱者でありまして、  
これは結局対応力が欠けてしまったりしますから

しばしば損を被るわけです。

旅なんかでも一緒に、例えば私は「旅行計画」なるものを  
一切立てないわけですね。

以前ランカウイ島に行ったときメルマガでも写真撮ったけど  
泊まるホテルも、行く場所も、現地でその日に決めているし  
さらにはランカウイ島に飛び立つ飛行機でさえ  
本当に2日前とかそんな時に取ってるわけです。

こう最初から「予」定を立てて動くということをしていないわけですね。

だって明日地震があるかもしれませんし、  
何か他の国に行かなければいけない事象があるかもしれませんし  
また自分が急に風邪を明日引くかもしれません。

ほんとうに何があるか分からない。誰にも予想できない。

だからそこでは「予」想なんてのはしないわけで  
予め、(あらかじめ)計画立てたり、予定立てたりという

小学校で教えられる、洗脳されることはしないわけで

それよりはその場で臨機応変に「頭使って、脳みそ使って」

考えてその日動くわけです。

例えば天気良くて体調もいいから海行きたいな〜とか、

雨降ってるから、屋内の気になってる食べ物屋に行こう、とか。

そうやってその時で臨機応変に考えて、動くわけですね。

頭使って。

んでそっちのほうがやっぱり旅も楽しい旅になるわけですね。

例えば明日ランカウイ島のビーチで泳ぐはずなのに

雷マックスの雨だった・・・とか

明日色々ショッピングなのに風邪引いちゃったとか、

そういうことが得てして旅先ではあると思うけど

そういう予想できないこと、要素ってのは沢山ありますから

それに臨機応変に対応できる能力を身に着けたほうが

人生お得なわけです。

だから実の話、「予定を立てる」とかそういうのを

日本人は義務教育で教えられるわけですが

これは社会に出れば分かるけど予定通り物事がとんとん拍子に進むなんてことはないんですよ。

それよりはその起きることが想定される事象に対して対応できるように準備しておく、ってことのほうが大事なわけです。

対応力とか修正力とか臨機応変力のほうが大事なんです。

だから実のところ「予定を立てる」って事自体を教えるのが少し洗脳チックなんです。

また天気予報も洗脳ですよ。

だって天気が分かるはずないんですから。

まあ確率である程度は想定はできても、晴れなのに雨だったってのは良くある話です。

ちなみに私はテレビでやってる天気予報も占いももう10年近く見ていないと思います。

そんな未来なんて誰にも分かるはずはありませんから。

ただ、やはりテレビで天気予報とか占いに「依存」する人が増えると  
これはこれで依存心高い人が増えますからね、

それはやはり、非常に頭の良い人たちが仕掛けている  
エンターテインメントを装った洗脳なんだ  
と気づかないといけないんですね。

そんで実際は予知とか予測よりも  
「その事象が起こったらその場で臨機応変に対応できるスキル」  
のほうが大事だったりするわけです。

それを磨きましょうよ、ってのが最近の  
優良な優れたトレーダーたちが教えている内容で実のところ  
共通してますね～

追伸・・・ちなみに上記の「予測、予想」をしている人の  
特性はイライラしやすくなります。

これは良く考えると分かるのですが

明日上がる、と予想していて下がったらイラつくと思いますし

明日晴れると予想してて雨だったらイラつくと思います。

これは予想とか予測すると脳みその中に「観念」が形成されるのですが

その「観念」と違うものが現象として出てきた場合

人間はストレスを感じる生き物だからです。

だから精神的にも悪影響なんですが、

得てして世間の人々はみな何かしら予想して動いています。

だからイライラします。

けど、そこで臨機応変力を高めよう、という発想で生きてる人は

明日 何かどうしようもない事象があっても事前に想定は

してきてますから対応するので

そこでイライラというのはないわけですね。

だから相場で「イライラ」という感情があるけど

この「イライラという感情がある人＝予測予知を何かしら

してしまってる」人です。

一方優れた投資家たちは

もしそこであまり芳しくない結果が出てしまった場合は

普通の人のように予想がうまくできなかつたからとは考えず、

「自分の臨機応変力、相場対応力、修正力が甘かった」

と考えるわけで、その人は必然的に臨機応変力が上昇していき

色々な場面で得するんです。

だからその人たちは方向性は定めているけど

世の中の不確実性を理解していて、その上で

臨機応変力とか対応力を磨いているから

イライラしないでのんびりとお金稼ぐだけじゃなくて

人生のあらゆる点で満足して生きているわけですね。

だから相場の考え方を理解すると人生のあらゆる点で

生きてくるってことでもありますね～